

～ リハビリに携わる方へ～

「第1回 日本フットケア・足病医学会 富士山セミナー」のご案内

「慢性創傷」を患う人に歩けるようになっていただくため「リハビリを担当してほしい」と言われたら、戸惑う方もいらっしゃるのではないのでしょうか。あるいは「慢性創傷」の治癒後に介入して、廃用がひどく大変な思いをされた方もいらっしゃるかもしれませんね。

整形外科領域や脳神経外科領域において、もっぱら必要とされてきた「リハビリ」。特に下肢の慢性創傷患者は、創傷の治癒後に歩けなくなってしまうことから、皆さんの力が不可欠です。



クラーク、義肢装具士、理学療法士、看護師、相談員らが集い、それぞれの役割を認識して患者のために連携。



歩くことができない患者が、普通の車椅子ではなく足こぎ車椅子を選択することにより、「リハビリしながらリハビリに」向かう様子。満面の笑顔が印象的。

本セミナーでは、下肢慢性創傷患者のリハビリテーションおよび理学療法をテーマとした「ワークショップや総論的な講演」「現場でどのように生かしたらよいのかを劇団風に表現したライブ」「連携の中で自らが果たす役割を理解できるようになるパネルディスカッション」「理学療法士による相談コーナー」など、さまざまな催しをご用意しています。

本セミナーに参加いただき、患者の足とその歩行守るための地域連携で活躍していただければ、これほど嬉しいことはありません。会場で皆様にお会いできることを楽しみにしています。

第1回 日本フットケア・足病医学会 富士山セミナー 会長 花田明香

花田明香 (Hanada Sayaka) ・プロフィール

2000年、山口大学医学部卒業。6年にわたり心臓外科医としての初期教育を受けた後、2006年より血管外科医として透析グループに勤務。足とその歩行を守るための多職種チーム「はながたみ」を立上げ、糖尿病・透析患者を中心に多くの下肢救済に携わる。2017年より新富士病院外科診療部長兼血管外科センター長。2018年、静岡県東部ハンズオンセミナーを立上げ、フットケア指導士、脈管診療技師、理学療法士、義肢装具士らと共に、足を見立て危険度を知るための具体的な方法を広めている。

◆リハビリ（フットケア）に関わる主たる講演履歴

「高齢者の足専門診療におけるパワープレートの活用事例」（2014年12月・東京）／「血管外科医が伝授するフットケア」（2015年11月・愛知）／「リンパ解剖と浮腫の原因と改善法～トレーナーが知っておくべき“むくみの科学”～」(2017年3月・東京)／「下肢静脈瘤の最新治療」（2018年6月・静岡）／「糖尿病・透析患者の足にひそむ危険とその対処法」（2018年9月・静岡 他）／「透析室で見逃してはならない虚血のサイン」（2018年11月・三重）／「これからはじめるフットケア～高齢者を足から守る～」(2018年12月・愛知)／「高齢者によく見られる足のトラブルとその対処法」（2018年12月・愛知）／「足を解く～血管外科医からフットケアナースへ～」(2019年3月・大阪)

「第1回 日本フットケア・足病医学会 富士山セミナー」概要

●会期——2019年9月7日(土)・8時55分～18時05分

●会場——コンベンションぬまづ (プラザ ヴェルデ)

TEL : 055-920-4100

静岡県沼津市大手町1丁目1-4 (JR沼津駅北口より徒歩3分)

●参加登録費 (当日)

参加区分		当日登録
医師・企業	会員	10,000円
	非会員	11,000円
コメディカル	会員	8,000円
	非会員	9,000円
学生 (学生証提示)		2,000円

●参加方法

事前参加登録の受付は終了しました。当日参加をご希望の方は、セミナー当日、会場となるコンベンションぬまづ (プラザ ヴェルデ)・1F ホワイエ「参加登録受付」までお越しください。登録受付は8時15分～17時となります。

◆セミナー内容・およびテーマ

テーマは「The Team work - Let' s climb to the Mt.Footcare with the map -」。フットケアを登山に例えれば、頂上には「患者の足を守り、歩行を守り、その人らしい人生をまっとうすること」があります。そこに到達するためには、足をみる人々がフットケアに関する十分な知識と経験を持ち、チームワークを重視することが大切です。本セミナーではフットケアに関わる多様な職種の方をお招きし、医療従事者はもちろん非医療従事者にも役立つ講演・企画・展示を行います。

◆日本フットケア学会について

フットケアは元々、日常の大半を靴で過ごす欧米で発達した「足の医学」です。近年の日本において、フットケアはチーム医療として取り入れられると共に、患者のQOL (クオリティ・オブ・ライフ) と医療の質の向上、医療の効率化を追求するための効果的な医療手段として注目を浴びるようになりました。それを受けて、チーム医療によるフットケアの正しい知識の啓蒙・普及を目指し、2003年10月に「日本フットケア学会」が設立されました。

2019年7月1日、当学会は「日本下肢救済・足病学会」と合併し、「日本フットケア・足病医学会」が新設されました。